

# 教務・学部事務室関係資料

## 1 大学の組織

○本学の学部・学科組織は、次の通り9学部21学科より構成されています。

文 学 部	日本文学科／中国学科／中国文学科（2017年度入学生より）／ 英米文学科／教育学科／書道学科／歴史文化学科
経 済 学 部	社会経済学科／現代経済学科
外 国 語 学 部	中国語学科／英語学科／日本語学科
法 学 部	法律学科／政治学科
国 際 関 係 学 部	国際関係学科／国際文化学科
経 営 学 部	経営学科
環 境 創 造 学 部	<u>環境創造学科</u> （2018年度より学生募集を停止）
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 部	スポーツ科学科／健康科学科／看護学科
社 会 学 部	社会学科

○大学を卒業後、さらに勉学を志す学生に対して、次の教育課程を設置しています。

大 学 院	文 学 研 究 科	日 本 文 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
		中 国 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
		英 文 学 専 攻	<修士課程>
		書 道 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
		教 育 学 専 攻	<修士課程>
	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
	法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
		政 治 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
	外 国 語 学 研 究 科	中 国 言 語 文 化 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
		英 語 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
		日 本 言 語 文 化 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
	ア ジ ア 地 域 研 究 科	ア ジ ア 地 域 研 究 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
	経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	<博士課程前期課程・博士課程後期課程>
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 研 究 科	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 専 攻	<修士課程>
法 科 大 学 院	法 務 研 究 科	法 務 専 攻	※2015年度より学生募集を停止

## 2 2022年度 所属別教員数一覧

2022年5月1日現在

学部・学科		専任					専任計	非常勤	合計
		教授	准教授	講師	助教	助手			
文学部	日本文学科	6	4	3	0	0	13	35	48
	中国文学科	3	4	1	1	0	9	15	24
	英米文学科	5	5	1	0	0	11	55	66
	教育学科	14	7	7	0	0	28	42	70
	書道学科	6	3	0	1	0	10	29	39
	歴史文化学科	6	3	0	0	0	9	23	32
	小計	40	26	12	2	0	80	199	279
経済学部	社会経済学科	12	6	2	1	0	21	24	45
	現代経済学科	9	5	2	0	0	16	17	33
	小計	21	11	4	1	0	37	41	78
外国語学部	中国語学科	8	4	2	1	0	15	35	50
	英語学科	11	7	6	1	0	25	90	115
	日本語学科	6	1	2	0	0	9	29	38
	小計	25	12	10	2	0	49	154	203
法学部	法律学科	16	3	1	0	0	20	46	66
	政治学科	10	3	1	1	0	15	28	43
	小計	26	6	2	1	0	35	74	109
国際関係学部	国際関係学科	9	3	1	0	0	13	15	28
	国際文化学科	5	6	1	0	0	12	12	24
	小計	14	9	2	0	0	25	27	52
経営学部	経営学科	21	7	2	0	0	30	20	50
	小計	21	7	2	0	0	30	20	50
スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	12	9	1	0	0	22	26	48
	健康科学科	13	5	1	0	6	25	8	33
	看護学科	7	7	5	6	13	38	10	48
	小計	32	21	7	6	19	85	44	129
社会学部	社会学科	9	8	2	1	0	20	38	58
	小計	9	8	2	1	0	20	38	58
合計		188	100	41	13	19	361	597	958

※専任教員数には、特任教授、特任准教授、特任講師、特任実習助手がそれぞれ含まれます。

### 3 2022年度 学生数一覽

2022年5月1日現在

所属組織	異動	1年		集計	2年		集計	3年		集計	4年		集計	総計
		男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性		
文学部 日本文学科	休学				1	2	3	1	1	2	5	2	7	12
	在学	72	83	155	87	94	181	72	65	137	86	60	146	619
文学部 日本文学科 集計		72	83	155	88	96	184	73	66	139	91	62	153	631
文学部 中国文学科	休学				1	1	2				1	1	2	4
	在学	19	21	40	31	25	56	36	25	61	34	29	63	220
文学部 中国文学科 集計		19	21	40	32	26	58	36	25	61	35	30	65	224
文学部 英米文学科	休学				1		1				4		4	5
	在学	62	44	106	85	54	139	69	54	123	59	56	115	483
文学部 英米文学科 集計		62	44	106	86	54	140	69	54	123	63	56	119	488
文学部 教育学科	休学				1		1				1	1	2	3
	在学	55	58	113	66	64	130	58	64	122	81	50	131	496
文学部 教育学科 集計		55	58	113	67	64	131	58	64	122	82	51	133	499
文学部 書道学科	休学	1		1		1	1		1	1		1	1	4
	在学	10	56	66	13	56	69	11	48	59	14	42	56	250
文学部 書道学科 集計		11	56	67	13	57	70	11	49	60	14	43	57	254
文学部 歴史文化学科	休学								1	1	4		4	5
	在学	62	21	83	70	39	109	58	36	94	64	30	94	380
文学部 歴史文化学科 集計		62	21	83	70	39	109	58	37	95	68	30	98	385
経済学部 社会経済学科	休学	1		1	4		4	5		5	1	2	3	13
	在学	188	28	216	187	30	217	176	23	199	170	23	193	825
経済学部 社会経済学科 集計		189	28	217	191	30	221	181	23	204	171	25	196	838
経済学部 現代経済学科	休学	1		1	1		1							2
	在学	151	16	167	146	25	171	133	25	158	141	19	160	656
経済学部 現代経済学科 集計		152	16	168	146	26	172	133	25	158	141	19	160	658
外国語学部 中国語学科	休学	1		1							1	5	6	7
	在学	30	42	72	32	42	74	26	37	63	42	27	69	278
外国語学部 中国語学科 集計		31	42	73	32	42	74	26	37	63	43	32	75	285
外国語学部 英語学科	休学				1	1	2	1	4	5	2	2	4	11
	在学	113	78	191	94	119	213	92	120	212	95	133	228	844
外国語学部 英語学科 集計		113	78	191	95	120	215	93	124	217	97	135	232	855
外国語学部 日本語学科	休学	1	1	2				2		2		1	1	5
	在学	22	24	46	34	31	65	23	31	54	34	28	62	227
外国語学部 日本語学科 集計		23	25	48	34	31	65	25	31	56	34	29	63	232
法学部 法律学科	休学					1	1	2		2	2	2	4	7
	在学	171	43	214	180	62	242	181	40	221	180	43	223	900
法学部 法律学科 集計		171	43	214	180	63	243	183	40	223	182	45	227	907
法学部 政治学科	休学							1		1				1
	在学	132	31	163	126	27	153	131	28	159	132	22	154	629
法学部 政治学科 集計		132	31	163	126	27	153	132	28	160	132	22	154	630
国際関係学部 国際関係学科	休学	1		1	1		1	1		1		2	2	5
	在学	67	36	103	59	49	108	60	45	105	66	40	106	422
国際関係学部 国際関係学科 集計		68	36	104	60	49	109	61	45	106	66	42	108	427
国際関係学部 国際文化学科	休学				1	1	2				2	1	3	5
	在学	41	35	76	46	55	101	40	53	93	33	63	96	366
国際関係学部 国際文化学科 集計		41	35	76	47	56	103	40	53	93	35	64	99	371
経営学部 経営学科	休学				3		3	1		1	1	1	2	6
	在学	289	93	382	276	88	364	261	91	352	242	94	336	1434
経営学部 経営学科 集計		289	93	382	279	88	367	262	91	353	243	95	338	1440
環境創造学部 環境創造学科	在学										4	1	5	5
環境創造学部 環境創造学科 集計											4	1	5	5
スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科	休学	1		1				2		2		1	1	4
	在学	102	43	145	95	47	142	83	31	114	81	49	130	531
スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科 集計		103	43	146	95	47	142	85	31	116	81	50	131	535
スポーツ・健康科学部 健康科学科	在学	49	34	83	33	35	68	46	33	79	46	43	89	319
スポーツ・健康科学部 健康科学科 集計		49	34	83	33	35	68	46	33	79	46	43	89	319
スポーツ・健康科学部 看護学科	休学				1		1		1	1		1	1	4
	在学	19	87	106	17	96	113	21	79	100	16	65	81	400
スポーツ・健康科学部 看護学科 集計		19	88	107	18	96	114	21	80	101	16	66	82	404
社会学部 社会学科	休学				1		1				1		1	3
	在学	92	97	189	109	90	199	106	77	183	115	77	192	763
社会学部 社会学科 集計		92	98	190	110	90	200	106	77	183	116	77	193	766
総計		1753	973	2726	1802	1136	2938	1699	1013	2712	1760	1017	2777	11153

# 4 2022年度学 年 暦

大東文化大学 (2022/4/1~2023/3/31)

大学評議会承認：2022年2月14日

日付	曜 期	板 橋	東 松 山
2022/04/01	金	学年始め、定期健康診断(4/1~2, 4/4~6) (5日間)	
2022/04/05	火		学生証交付(1年生) (4/5~4/9) (5日間)
2022/04/08	金		定期健康診断(4/8~9, 4/11~14) (6日間)
2022/04/11	月	入学式 (会場:さいたまスーパーアリーナ)	
2022/04/15	金	前期授業開始	
2022/07/18	月	通常授業(海の日)	
2022/07/28	木	前期授業終了	
2022/07/29	金	前期定期試験期間(7/29~30, 8/1~4) (6日間)	
2022/08/04	木	(スポーツ・健康科学部健康科学科、看護学科、文学部教育学科保育士課程 前期授業終了)	
2022/08/05	金	試験予備日	
2022/08/06	土	夏季休暇 8/6~9/15	
2022/08/09	火	前期追試験時間割発表	
2022/08/10	水	前期追試験 8/10, 12(2日間)	
2022/09/05	月	卒業者発表	
2022/09/15	木	学位記授与式・卒業式	
2022/09/16	金	後期授業開始	
2022/09/19	月	通常授業(敬老の日)	
2022/09/20	火	創立記念日(99周年)	
2022/10/10	月	通常授業(スポーツの日)	
2022/10/28	金	大東祭前準備 全学休講	
2022/10/29	土	大東祭(会場 板橋) 全学休講(10/29~30)	
2022/10/31	月	大東祭後片付け 全学休講	
2022/12/24	土	冬季休暇 12/24~1/6	
2023/01/07	土	授業開始	
2023/01/13	金	後 臨時休講	大学入学共通テスト実施準備(東松山校舎) 臨時休講
2023/01/14	土	臨時休講	大学入学共通テスト(東松山校舎)(1/14,15) 臨時休講
2023/01/20	金	後 後期授業終了	
2023/01/21	土	後期定期試験期間(1/21,23~27) (6日間)	
2023/01/27	金	(スポーツ・健康科学部健康科学科、看護学科、文学部教育学科保育士課程 後期授業終了)	
2023/01/28	土	試験予備日	
2023/01/30	月	春季休暇 1/30~3/31	
2023/02/10	金	後期追試験時間割発表	
2023/02/13	月	後期追試験 2/13・14(2日間)	
2023/03/03	金	卒業・進級者発表	
2023/03/23	木	学位記授与式・卒業式(会場:東京国際フォーラム)	
2023/03/31	金	学年終了	

※休講に対する授業措置(補講)は、月曜日から金曜日の6限目または土曜日4限目以降に行うものとする。

ただし、当該科目の受講者が他の科目を受講することを妨げない範囲で、他の時限に補講を行ってもよい。

※スポーツ・健康科学部健康科学科、看護学科および文学部教育学科保育士課程は、厚生労働省による授業日数を確保している。

※定期健康診断については、学科・学年別日時指定により実施(詳細についてはDBポータルを通じて別途お知らせする)。

## 5 入学から卒業までの流れ

### 1. 学期

学期は前期（4月1日～9月15日）、後期（9月16日～翌年3月31日）の2学期に区分しています。本年度の授業期間や試験期間は学年暦（前頁参照）をご覧ください。

### 2. 単位

大学教育における顕著な特色は単位制です。単位制は米国由来の制度で、45時間の学習を1単位と計算します。45時間は、元来は1週間分の労働時間に相当しました。学業と労働を同等に捉えていたことに拠ります。講義科目の場合、1時間の教室内の授業に対し2時間の教室外の準備（自習）が必要であり、準備したことを前提として、半期15週であるため15時間の授業をもって1単位とカウントします。

ただし、大学の授業は90分であり、これは2時間とカウントされるため、講義科目で付与される単位数は2単位となります（自習の時間も2倍となり4時間が必要です）。演習科目の場合は、2時間の教室内の授業に対し、1時間の教室外の自習が必要であるとし、30時間の授業をもって1単位とカウントします。実験・実技・実習科目については、全て学内で学習が行われるものとして、45時間の授業をもって1単位とします。

単位は履修登録をして期末試験に及第したことにより付与されます。所属する学部・学科が定める要件に沿って授業科目を履修し、付与された単位を4年間かけて積算した結果、124ないし126単位に到達すれば卒業できるシステムになっています。

### 3. 授業科目と履修単位数

本学における授業科目の区分は基礎教育科目・専門教育科目・全学共通科目（※看護学科は、専門基礎科目・専門科目・総合基礎科目〔全学共通科目を含む〕）に大別され、それらの履修要件は学科ごとに規定されています。国際関係学部、スポーツ・健康科学部以外の学部の1・2年次は東松山校舎、3・4年次は主に板橋校舎で授業が実施されますが、東松山校舎での受講も可能です。なお、国際関係学部、スポーツ・健康科学部については、全学年を通じて東松山校舎で授業が実施されます。

各学科とも、学年ごとに系統的に授業科目が配当されており、1年間に履修できる単位数は学科によって異なりますが、概ね42～49単位となっています。

履修単位数上限一覧（2022年度入学生の場合）

学部	文						経済		経営	外国語			法		国際関係		スポーツ・健康科			社会
学科	日文	中文	英米	教育	書道	歴史	社会経済	現代経済	経営	中国語	英語	日本語	法律	政治	関係	文化	スポーツ	健康	看護	社会
1年生	44						44	44	44	48			48	44	44	44	44	48	48	44
2年生	44						44	44	44	48			48	44	44	44	44	48	48	44
3年生	44						49	44	44	48			48	44	44	44	44	48	48	44
4年生	49						49	48	48	48			49		48	49	48		44	

## 4. 授 業

受講生数が少数であるほど教育効果が高くなることから、板橋校舎における授業の約4分の3を80名以下の少人数クラスにしています。東松山校舎（1・2年次）においては30～50名前後のクラス編成を基本にしており、少人数の度合いを更に高くしています。

本学の授業期間は、定期試験等を含めると年間35週です。授業はそれぞれ週1回（90分）ずつ、年間30回実施します。祝日の関係で30回の授業回数が確保できない曜日については、祝日でも通常授業日と設定し、授業回数を確保します。また、交通機関の運行障害等想定外の事態が発生しやむなく授業を休講にすることがありますが、その際はそのつど補講を実施します。

補講は、月曜日から金曜日の6時限または土曜日4時限以降に実施します。ただし、当該科目の受講者が他の科目を受講することを妨げない範囲で、他の時限に実施することもあります。

### 授業時間帯（東松山校舎・板橋校舎共通）

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目
9：10～10：40	10：55～12：25	13：15～14：45	15：00～16：30	16：45～18：15

## 5. 試験・評価

前・後期それぞれの学期末に定期試験期間（前期7日間、後期7日間）が設けられています。試験としては定期試験（筆記試験）のほかレポート提出によるものがあります。また、定期試験期間前の授業中に試験が行なわれる場合もあり、必ずしも全授業科目一律で定期試験期間中に試験が実施されるわけではありません。

なお、成績評価はシラバスに記載されている方法（授業受講度、試験、レポート課題等）により、下表のとおりS、A、B、C、D、Eで評価され、評価が「C」以上（60点以上）を合格とし、その授業科目に対し所定の単位が付与されます。

S	A	B	C	D	E
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	評価対象外
合 格				不合格	

注)「E」は授業の出席不良、試験未受験等により評価ができない場合の評価。

## 6. 学年毎のポイント

続いて学年毎の注意事項について、さらに細かく説明していきます。

### 【1年生】

#### 1) ガイダンス

入学時各自から提出された書類に基づき、学籍原簿・成績原簿・学生カードが作成されます。これらは学生個々人の在学期間中における様々な記録が記されていく書類で、大学に永久に保存されていくものです。学生証が交付され、大学生としての生活が始まります。

大学生活の全般、履修すべき授業科目の登録の方法について、ガイダンスが実施され、細かな説明が行われます。説明動画や資料も配信され、これらを参考にして各自が一年間の時間割を組んでいきます。不明な点は事務スタッフに気軽に相談してください。

#### 2) 履修登録

大学における履修とは、講義、演習、実験・実技・実習の授業科目を登録し、それぞれの授業を受講し、

試験に合格し、所定の単位が付与される（修得する）ことを意味します。4月の定められた期間に、履修の第一歩である履修登録（web登録）の手続きを学生自身が行います。その年度に履修する全ての科目を登録します。登録していない科目は出席（受講）しても単位が付与されません。自分自身のことにも慎重に対処することが重要になります。

### 3) 時間割

1週間の時間割は個人によって異なりますが、1日に受講する科目数は概ね2～3科目です。授業時間は90分（2時間とカウントする）ですが、**5**の2.「単位」（P.13）で示したとおり、定められた時間の自習を行なう必要があります。単位制の考え方として、1単位付与されるための学業に要する時間は1週間の労働時間と同じでした。働いてこそ収入が得られるのと同様に、単位修得には学習が必要なのです。

高等学校までの答えが用意された問題を解いたり暗記したりするような勉強と異なり、大学での学問は必ずしも解答のない問題について自身の頭脳を悩ませ、考え抜いていくことが重要であり、そのような学問をしてこそ、大学を卒業する価値があります。大東文化大学には160万冊の蔵書を有する図書館があります。この図書館を自習する場として活用してみたいかでしょうか。図書館で、自身の人生を方向付けるような本と出合えるかも知れません。図書館を基点に大学生活を送るというのも、有意義でしょう。

大学生活の出発点に当たる1年生においては、大学入学を果たした解放感に浸りながらも、4年後の卒業に向けての単位修得も見据え、気を引き締める必要があります。大学生活には独特のリズムがあり、出来るだけ早くそのリズムをつかむ必要がありますが、そのためにはとにかく自分の時間割通りに授業に出席することが大切です。「大学に行くこと」そして「授業に出席すること」、この2点を心掛けたいものです。

### 4) 転学部・転学科

本学学則第31条に、本大学の学生で、他の学部又は学科へ移ることを願い出た者は、欠員があり、かつ学科が定める条件を満たす場合に限り、考査の上これを許可することがある、とあります。前提として、希望先の学部・学科に当該年度において受入れ枠がある場合に限り可能性がありますが、転学部・転学科するためには試験に合格しなくてはなりません。受験条件は各学科によって異なり、1年生でも認められたり、あるいは2年生に限られたり、試験方法についても語学のみの場合や、小論文、面接が課される場合もあります。詳細については、東松山教務事務室または各学部事務室まで問い合わせ願います。

### 5) 試験と成績

7月の前期試験は、最初の関門です。授業に出席し、自習（予習・復習）をしていれば心配する必要はありません。日頃から講義ノートを整理し、自習の際に自身で調べたことや気づいたこと、考えたことをここに書き込んで頭の中を整理しておく、論述が求められる試験にもすんなり対応できるでしょう。

試験が終了すると、担当教員からそれぞれ評価結果が提出され、成績データは個人別に成績原簿に集計されます。結果は学生の勉学の成果として保証人宛に通知されます。成績評価は、各科目の担当教員が作成した「webシラバス（授業計画）」の「成績評価の方法・基準」における各評価方法の割合による総合的な算定結果に基づいています。

大半の学生が、年間42～49単位分の履修登録をしています。後期終了時点で今年度登録した科目全ての単位修得を目標にすることが肝要です。履修単位を大幅に下回る単位数しか修得できなかった場合は今後の進級にも影響してくる可能性があります。要注意です。緊張感をもって、学業に臨んでほしいです。



### 定期試験時間帯（東松山・板橋両校舎共通）

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目
9 : 30 ~ 10 : 30	10 : 50 ~ 11 : 50	12 : 40 ~ 13 : 40	14 : 00 ~ 15 : 00	15 : 20 ~ 16 : 20

※定期試験の試験時間帯は、通常の授業時間帯とは異なります。

## 6) 生活指導

後期（9月16日より授業開始）を迎えると、学生も大学生活に慣れてきたと思われませんが、夏季休暇を挟んで大学から遠ざかったこともあるため、生活のリズムを大学生活にリセットし、今一度、「大学に行くこと」そして「授業に出席すること」を意識化することが大切です。お子様と打ち解けた会話をもち、生活の状況を把握し、生活に乱れがあれば可能な限り早期に発見し、その場その場で対応を行なうことが大切です。

## 7) 臨地実習（看護学科）

看護学臨地実習は、看護職をめざす学生が、臨地において看護を実践することを通して、学内で学んだ知識・技術を統合すると共に、看護職としての基本的態度を修得するために欠くことのできない学修です。実習を通して、学生は対象者と関わり、看護することの喜びや充実感を感じながら、援助的人間関係を形成する能力、対象者のもつ看護上の問題を見出し、解決する能力などを修得すると共に、看護職としての役割や社会的責任なども理解できるようになります。大学教員が現場に常駐して、実習施設の指導者と連携を保ちつつ教育にあたるひとつのチーム・ティーチングとなっています。

1年次の臨地実習科目は、「基盤看護学実習Ⅰ」であり、前期中に指定された期間でグループ毎に臨地実習を行ないます。

## 8) 3年次進級に向けた成績取得単位数の振り返り

教育学科を除いた各学科には、2年生から3年生へ進級するための要件が設定されています。

進級不可とならないために、1年生終了時の修得単位数が1年間の履修制限単位数の半分未満（概ね20単位未満）の場合には、その原因について、学生自身が振り返り、認識する必要があります。

原因が認識でき、危機意識を抱くことができれば、2年生で挽回できることも可能でしょう。他方、それが難しい場合、そのまま学習意欲を喪失してしまうケースが少なくありません。そのため、まだ1年生だからと楽観視せず、日頃の生活、延いては日頃の学習の様子について、注視していく必要があります。その意味でも、1年生の前期、後期終了時の成績、とりわけ単位修得状況は注意しても、し過ぎることはありません。



## 【2年生】

### 1) 進級

入学から1年を経過すると大学の年間行事を一通り経験したことになり、大学生活に対してある程度自信と余裕も出てきて、学年始めのガイダンスも五里霧中といった状態ではなくなります。

2年生になって、緊張感をもって意識していかななくてはならないことは、3年生への進級です。本学には、教育学科を除いて、各学部・学科に2年生から3年生へ進級する際に課せられる一定の条件があり、例えば、定められた科目及び単位数を修得していない場合進級できません。これを進級要件といいます。各学科の進級要件は次のとおりです。

#### 3年次進級に係る進級要件

学 科	3 年 次 進 級 要 件		
	進級要件(全体)	進級要件 (付帯事項)	備 考
日 本 文 学 科	40単位以上		
中 国 文 学 科	44単位以上		
英 米 文 学 科	44単位以上		
教 育 学 科	無		
書 道 学 科	44単位以上	指定科目6単位を含む	
歴 史 文 化 学 科	44単位以上		
中 国 語 学 科	30単位以上	専門教育科目の「必修科目」12単位含む	
英 語 学 科	40単位以上		
日 本 語 学 科	36単位以上		
社 会 経 済 学 科	40単位以上	指定科目10単位を含む(留学生は更に指定科目4科目4単位)	
現 代 経 済 学 科	40単位以上	指定科目14単位を含む(留学生は更に指定科目4科目4単位)	
経 営 学 科	40単位以上	基礎教育科目の必修科目8単位を含む	
法 律 学 科	34単位以上	必修科目26単位含む	2015(平成27)年度 入学生より適用
政 治 学 科	36単位以上		2015(平成27)年度 入学生より適用
国 際 関 係 学 科	32単位以上		
国 際 文 化 学 科	32単位以上		
ス ポ ー ツ 科 学 科	44単位以上		
健 康 科 学 科	44単位以上		
看 護 学 科	77単位以上	必修科目66単位中、64単位の修得が必須	2021(令和3)年度 入学生まで適用
社 会 学 科	44単位以上		

進級要件に特定の科目の修得がある場合、優先して履修する必要があることは言うまでもありません。1年生に不合格で2年生に再履修する際は最優先で時間割に組込む必要があります。そして2年生で合格しないと進級できないとの緊張感をもって授業に出席し、自習に臨んでいくことが不可欠です。

2年生になると、所属する学部・学科の専門教育科目も履修可能になります。いよいよ自分が所属する学部・学科の専門性のある学問が開始します。その意味で2年生は非常に大切な学年と言えます。

### 2) 成績不良者

何らかの理由で1年生の単位修得状況が芳しくなかった場合でも、この1年間で挽回し、3年生に進級

することも不可能ではありません。進級要件に規定された対象科目の単位修得に傾注し、緊張感をもって授業に出席し、自習に励むことが必要です。

### 3) 及落判定

進級の判定は2年生の学年末、3月初旬に開催される各教授会で審議されます。進級者、留年者等が決定し、3月上旬には保護者宛に判定結果「成績通知書」が送付されます。

次に、昨年度の進級・留年者の状況は、下表のとおりです。(休学による留年は、留年者に含まない。)

2021年度 3年次進級・留年者数一覧 2022年3月31日現在

学 部	学 科	21/4/1 現在	22/3/31 現在	22/3/31 現在	22/3/31 現在	留年者数	休学者数
		学 生 数	退学者数 (含除籍)	学 生 数	進級者数		
文 学 部	日 本 文 学 科	157	4	153	140	10	3
	中 国 文 学 科	80	6	74	61	11	2
	英 米 文 学 科	143	7	136	125	8	3
	教 育 学 科	125	1	124	123		1
	書 道 学 科	65	1	64	59	2	3
	歴 史 文 化 学 科	104	1	103	95	5	3
経 済 学 部	社 会 経 済 学 科	222	1	221	203	14	4
	現 代 経 済 学 科	163	1	162	158	4	0
外 国 語 学 部	中 国 語 学 科	68	2	66	63	3	0
	英 語 学 科	237	12	225	216	5	4
	日 本 語 学 科	61	5	56	54	2	0
法 学 部	法 律 学 科	234	8	226	221	3	2
	政 治 学 科	160	1	159	159	0	0
国 際 関 係 学 部	国 際 関 係 学 科	110	0	110	105	4	1
	国 際 文 化 学 科	93	2	91	89	2	0
経 営 学 部	経 営 学 科	372	1	352	1	18	0
ス ポ ー ツ ・ 健 康 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	118	1	117	116	1	0
	健 康 科 学 科	83	1	82	79	1	2
	看 護 学 科	113	2	111	100	11	0
社 会 学 部	社 会 学 科	191	2	189	185	2	2
合 計		2899	59	2821	2352	106	30

(2022年3月31日付退学者・除籍者を含む)

### 4) 演習授業 (ゼミ)

高校までにはない大学ならではの授業として、各学部に演習授業 (ゼミ) が開講されています。演習授業 (ゼミ) は、3・4年生 (経済学部は2・3年生) で開講される同一教員から指導を受ける授業科目で、各自が最も勉強したい専門分野のテーマを少人数の仲間達と共同して研究討論し、卒業論文やゼミ論の作成などを行います。延いてはその活動を通じて、教員指導の下、同輩との切磋琢磨の中で人間形成を図ろうとするものです。演習授業 (ゼミ) を受講するためには、受講者数の調整上事前に受け入れ試験などに合格しなければなりません。この試験は、文学部・法学部・経営学部では例年2年生の秋季に

行なわれますが、その実施方法は各学科によって異なりますので掲示連絡の見落としがないよう注意が必要です。

外国語学部では、各授業が少人数編成になっているので、もともと演習授業（ゼミ）と同様の形式で授業が行なわれています。

経済学部では、1年次に「基礎演習」（必修）を受講し、2年次開講「専門演習Ⅰ」、3年次開講「専門演習Ⅱ」への準備を行ないます。また1年次の後期においては、2年次で受講する「専門演習Ⅰ」を選択、決定する必要があります。「専門演習Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生は、4年次で「卒業研究」（「専門演習Ⅰ・Ⅱ」と同一教員）を履修することが原則です。

国際関係学部では、3年生から演習授業（ゼミ）が開講されます。2年生の後期にゼミシラバスを参考に、各自で教員の研究室を訪問し、説明・指導を受けた後、演習（ゼミ）を決定します。4年生の卒業論文演習と連動していますので慎重に選択してください。（2019年度入学生からは2年次より基幹演習が始まります。）

社会学部では、専門必修科目として開講している「社会学演習Ⅰ」、「社会学演習Ⅱ」を受講する前年度の後期に選択します。「社会学演習Ⅰ」と「社会学演習Ⅱ」では別の研究室に入室することが可能ですが、4年生で受講する「卒業研究」は「社会学演習Ⅱ」と同一教員より指導を受けます。

以上のとおり、演習授業は必修科目あるいは選択科目など学科によりその位置づけが異なり、修得せずに卒業することが可能な学科もありますが、出来る限り受講することをお勧めいたします。将来の人生について様々な示唆を受けるに違いありません。

## 5) 現地研修

国際関係学部では、授業科目として「現地研修」が2年生に実施されます。「現地研修」は、選択科目の位置づけで、地域言語を選択した海外の協定校にて約3週間程度の日程で研修するものです。

環境創造学部では、山形県での国内研修を実施しています。

社会学部ではマレーシア・フィリピン・台湾・オーストラリアでの海外研修、沖縄県・山形県での国内研修を設定しております。

## 6) 介護等体験

教育職員免許法により、小学校・中学校教諭の免許状の取得を希望する者に対し、「介護等体験」として、社会福祉施設での体験を5日間、特別支援学校（盲・聾・養護学校）での体験を2日間（合計7日間）の介護等の体験をすることが、上述の免許状を取得するうえでの必須要件となっています。

本学では、介護等体験実施の前提科目「教育学科：特別支援教育、その他の学科：特別支援教育（介護等体験の指導を含む）」の単位取得を条件に、通常の場合は3年次に同体験を実施します。施設及び特別支援学校への体験については、学生個人による申込みはできないため、本学より一括して各地区の社会福祉協議会ならびに教育委員会へ申請を行います。後日これらの機関より、具体的な受入れ施設、実施（予定）日等の連絡が本学に入り次第、学生に周知しております。しかし、コロナ禍では体験先の方々や学生の心身の安全を優先するために、ここ数年は文科省からの通知に基づいて特別支援学校及び社会福祉施設での体験実習は行わず、文科省指定の通信教材による学修にて代替しております。

なお、介護等体験の実施に当たりまして、介護等体験費（12,000円）を別途本学にて代理徴収のうえ、本学から一括して社会福祉協議会等へ納入しております。ただし、コロナ禍における介護等体験費につきましては、代替措置に関わる諸費用に充当いたします。

## 7) 臨地実習（看護学科）

看護学臨地実習は、看護職をめざす学生が、臨地において看護を実践することを通して、学内で学んだ知識・技術を統合すると共に、看護職としての基本的態度を修得するために欠くことのできない学修です。実習を通して、学生は対象者と関わり、看護することの喜びや充実感を感じながら、援助的人間関係を形成する能力、対象者のもつ看護上の問題を見出し、解決する能力などを修得すると共に、看護職としての役割や社会的責任なども理解できるようになります。大学教員が現場に常駐して、実習施設の指導者と連携を保ちつつ教育にあたるひとつのチーム・ティーチングとなっています。

2年次の臨地実習科目は、「基盤看護学実習Ⅱ」と「老年看護学実習Ⅰ」であり、指定された期間でグループ毎に臨地実習を行います。

## 【3年生】

### 1) 専門課程

3年生は、勉学上大学生生活4年間のうちで最も充実した時期となります。各自の所属する学科の中核となる様々な授業科目を履修することになります。演習関係の授業は少人数編成を採っていますが、1・2年生における全体的なクラス編成と違い、3・4年生における各自の時間割作成は、かなりの範囲にわたり自由な選択に委ねられます。

### 2) 卒業論文等の作成準備

文学部では、日本文学科、中国文学科の2学科が卒業論文を、書道学科ならびに環境創造学部・社会学部では卒業研究を、国際関係学部でも卒業論文を必修としており、それぞれ3年生の5～6月頃に卒業論文の作成についての説明会が実施されます。実際の卒業論文の提出期日は4年生の12月ですが、3年生のうちからその作成計画を立て始める必要があります。

経済学部、法学部、経営学部の演習授業（ゼミ）における論文作成は、学則の上では必修の扱いではありませんが、論文作成を単位認定の必要条件として課す演習授業（ゼミ）が少なくありません。このため、ゼミで作成する論文も卒業論文に相当するものと言えるでしょう。

### 3) 就職準備

大学後半の学年ともなれば、ある程度しっかりした人生観を持ち得る年代であり、漠然とはしていても人生に対する好奇心、批判、懐疑などが自己の勉学姿勢に反映し、ただ漠然と授業に出席するというだけでなく、あくまでも主体的に授業に取り組む姿勢が出てくる筈です。それと同時に卒業後の各自の進路についてある程度明確な考えを持つようになり、その必要も出てきます。

### 4) 教育実習校の選定

教職課程の専門科目については、主として3年生において履修することになりますが、この時点で将来教員を志す者はそのための確固とした信念を固めておくことが大切です。

教職課程の履修上、欠かせないものの1つとして教育実習（学外）があります。教育実習は4年生で行ないませんが、2年生の春季休暇中に実習校の選定を行なう必要があります。

大学で斡旋できる実習校の数はかなり限定されるため、原則として地方出身の教職課程履修者全員がそれぞれの出身校である幼、小、中、高校に対し実習受け入れの内諾依頼を行なうこととなります。

このように教育実習に従事するためには、2年生の春季休暇中の内諾依頼に始まり、4年生の6月頃、実際に実習校の教育現場で実習を行なうまでは、大学、実習校、当該都道府県市町村の教育委員会等との間で数次にわたる手続きを経なければなりません。そのため、教職課程の履修者には、あくまでも将来教員を志すという明確な意志と情熱が求められます。

また、4年生における教育実習（学外）に関わる経費として、3年生の前期に教育実習費（7,500円）を別途納入していただきます。

### 5) 司書・司書教諭、社会教育士(任用資格)ならびに学芸員の資格

本学で取得が可能な資格としては、「教員免許状」のほかに「司書・司書教諭」、「社会教育士(任用資格)」ならびに「学芸員」があります。これらは、図書館法、学校図書館法、社会教育法、博物館法に基づくもので、それぞれ司書・司書教諭課程、社会教育士(養成課程)課程、学芸員課程として1年次から授業が

始まりますが、主に3・4年次に多くの授業が開講されております。ただし、学部・学科によってはこれらの資格に関する教育課程を設置していないため、資格を取得できない場合があります。

## 6) 臨地実習 (健康科学科)

医療施設の臨床検査部門において実施される臨地実習は、学内で学んだ講義や実習だけでは習得出来ない患者さんの対応(接遇)と患者さんの検体材料の測定成績が得られ、臨床医に提出される迄の流れについて学習します。また同時に医療における医療チームの一員としての責任と自覚、他職種との連携の必要性に加えて、専門職としての学習習慣や研究態度等も現場指導者から積極的に学びます。臨地実習施設は、充実した職員の配置と設備を有し、指導体制の整った東京都内、神奈川、栃木、埼玉県内の大学附属病院や総合病院、医師会病院、日本赤十字病院など30の施設で実施を予定しています。

臨地実習の構成と概要は、①「臨床検査総論：生体試料分析学D(一般検査学実習)、形態学F(一般検査形態学実習)」、②「病理組織細胞学：形態学D(病理検査学実習)」、③「臨床生理学：生理学特論B(生理機能検査学実習)」、④「臨床化学：(臨床化学特論B)」、⑤「臨床血液学：形態学E(血液形態検査学実習)、生体試料分析学E(止血検査学実習)」、⑥「臨床微生物学：微生物学特論B(微生物検査学実習)」、⑦「臨床免疫学：免疫学特論B(免疫検査学実習)、生体試料分析学F(輸血移植検査学実習)」の7部門の実習教科目で構成されています。

臨地実習期間は8週間で、3年次後期に集中的に実施され、本学では1月下旬から3月下旬に計画されています。もちろん臨地実習開始前には、学内において臨地実習の目的と意義・心構え・履修方法・実習指導体制・留意事項等についてガイダンスを行い、実習がより効果的に展開されるよう、必要な準備・指導を行ないます。

## 7) 臨地実習 (看護学科)

看護学臨地実習は、看護職をめざす学生が、臨地において看護を実践することを通して、学内で学んだ知識・技術を統合すると共に、看護職としての基本的態度を修得するために欠くことのできない学修です。実習を通して、学生は対象者と関わり、看護することの喜びや充実感を感じながら、援助的人間関係を形成する能力、対象者のもつ看護上の問題を見出し、解決する能力などを修得すると共に、看護職としての役割や社会的責任なども理解できるようになります。大学教員が現場に常駐して、実習施設の指導者と連携を保ちつつ教育にあたるひとつのチーム・ティーチングとなっています。

3年次の臨地実習科目は、「成人看護学実習Ⅰ(急性期)」「成人看護学実習Ⅱ(慢性期)」「老年看護学実習Ⅱ」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「精神看護学実習」「在宅看護学実習」であり、指定された期間でグループ毎に臨地実習を行います。



## 【4年生】

### 1) 卒業要件

大学を卒業し、学士の学位を得るためには、本学では各学科共4年間以上在学し各学科の所定の単位を取得しなければなりません。なお、在学期間は8年を超えることはできません。

また、卒業要件単位数は124単位、126単位と各学科で異なり、さらに、年間の履修単位数の上限も異なっています(P.13参照)。

この卒業要件単位数は文学部日本文学科を例にとって説明すると、 $44(\text{単位}) \times 3(\text{年間}) = 132(\text{単位})$ となり、数字のうえでは3年生終了の時点でほぼ満たされるわけです。すなわち1～3年生で勉強状態を順調に維持してきた学生であれば、4年生の場合卒業までにあと数科目を残すのみといった状況になるでしょう。

しかし、大学の授業科目の配当は4年間にわたって行なわれており、4年生で履修すべき科目が設置されている学科が少なくありません。例えそれが卒業するために必要な科目ではなくても残りの単位は、これらの4年生配当科目を数科目履修することが大学の教育課程を全うするための原則といえます。

一般的に4年生における履修科目数は、3年生までのそれと比較して減少しますが、学生によっては時間割表に隙間もないほど履修科目が詰まっている学生もいます。また、3年生終了の時点ですでに教員免許状や司書資格の取得を断念しなければならない事態に陥っている学生もいます。

なお、教員免許状を取得したい場合は、学士の学位を取得することに加えて、卒業までに「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位も併せて取得しなければなりません。次に、各学部・学科の履修ならびに卒業要件の一覧表を掲載します。

【卒業要件／2022年度入学生用】

注) 2021年度以前の入学生は、1年次に配付された『履修の手引』等で確認してください。

学部	学科	基礎教育科目			専門教育科目					全学共通科目			選択科目	合計 単位
		必修 科目	選択 必修 科目	選択 科目	必修 科目	選択 I	選択 II	選択 必修 科目	選択 科目	必修 科目	選択 必修 科目	選択 科目	(A+B+ C+D+E+ F)	
文学部	日本文学科		8	A	10			48	B	2		C	56	124
	中国文学科	8	4	A	24			40	B	2		C	46	124
	英米文学科	22	4	A	8			32	B	2		C	56	124
	教育学科		12	A	20			48	B		12	C	32	124
	書道学科	10	4	A	24			40	B			C	46	124
	歴史文化学科		8	A	18			44	B	2		C	52	124
経済学部	社会経済学科	8	8		8	12	12	36				12	52	124
	現代経済学科	10			10	12	12	36				12	56	124
外国語学部	中国語学科	8		A	22			40	B		12	C	42	124
	英語学科													
	(英語コース)	22	8	A	34			28	B		12	C	20	124
	(ヨーロッパ2言語コース)	20	20	A	34			24	B		12	C	14	124
	日本語学科	2	0	A	26			44	B		12	C	40	124
法学部	法律学科	10		A	30			64	B	4	6	C	10	124
	政治学科	8		A	8			74	B	4	16	C	14	124
国際関係学部	国際関係学科	4		A	10			70	B+C			D	40	124
	国際文化学科	4		A	10			70	B+C			D	40	124
経営学部	経営学科	8	2	A	12			36	B			C	66	124
スポーツ・健康 科学部	スポーツ科学科	18	2	A	14			66+B		2		C 12以上	22	124
	健康科学科	6	4	A	11			47+B		2		C	54	124
	看護学科													
		必修 科目		選択 科目	必修 科目				選択科 目	必修 科目		選択 科目	(A+B+ C+D+E+ F)	合計 単位
		30		3	70				3	10		10	—	126
社会学部	社会学科	8	4+A	B	28			48+C	D	2	4+E	F	30	124

注1) 文学部教育学科を除く各学部・学科には別途進級規程がある。(P. 17 参照)

注2) スポーツ科学科生は、全学共通科目(総合体育A・Bを含めず)から12単位以上を取得しなければならない。

注3) 次の学部は、専門教育科目の最低取得単位数が定められている。

① 経済学部生は、専門教育科目から74単位以上取得すること。

② 法学部生は、選択必修科目の各カテゴリーから指定された単位数以上を必ず取得すること。

③ 経営学部生は、専門教育科目から84単位以上取得すること。

注4) 外国人留学生(日本語学科を除く)はこの限りでない。

① 経営学部の外国人留学生は、126単位以上取得しなければならない。

## 2) 卒業判定

卒業判定教授会は、例年3月上旬に各学部別に行われます。学部・学科によっては、卒業保留となった者の中から一定の基準内にいる者に対し、再試験を実施する場合があります。

以下は、過去6年間の卒業・留年状況と前年度の卒業判定結果です。

年度別卒業・留年状況一覧

2022年3月31日現在

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
卒業者数	2,499	2,650	2,603	2,671	2,499	2,680
留年者数 (含休学者)	256	219	281	273	281	211
合計	2,755	2,869	2,884	2,944	2,780	2,891
留年比率	9.29%	7.63%	9.74%	9.27%	10.1%	7.3%

2022年度 学科別卒業判定結果一覧

2022年3月31日現在

学部	学科	3月 卒業者数	9月 卒業者数	留年者数	休学者数	退学(除籍)者数	合計
文学部	日本文学科	153	4	18	6	1	182
	中国文学科	52	0	5	0	2	59
	英米文学科	114	4	5	3	2	128
	教育学科	103	2	13	2	1	121
	書道学科	50	0	1	2	0	53
	歴史文化学科	83	0	9	2	2	96
経済学部	社会経済学科	192	10	12	3	2	219
	現代経済学科	145	8	13	0	2	168
外国語学部	中国語学科	60	1	9	0	1	71
	英語学科	203	4	12	2	12	233
	日本語学科	52	1	6	1	4	64
法学部	法律学科	213	8	5	2	3	231
	政治学科	154	1	6	2	2	165
国際関係学部	国際関係学科	92	2	7	4	1	106
	国際文化学科	98	0	5	1	3	107
経営学部	経営学科	372	11	22	7	10	422
	企業システム学科	1	0	0	0	1	2
環境創造学部	環境創造学科	9	2	5	1	3	20
スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	119	2	1	1	0	123
	健康科学科	85	2	5	0	0	92
	看護学科	96	0	2	0	0	98
社会学部	社会学科	181	0	10	1	0	192
合計		2627	62	171	40	52	2,952

## GPA について

GPA (Grade Point Average) とは、履修登録した科目の成績を 4 から 0 までの点数に置き換えて単位数を掛け、その合計を履修総単位数で割った 1 単位あたりの平均点です。日本の多くの大学をはじめ世界各国の大学でも使用されている学修成果指標です。

学修の達成度をより明確に示し、自らの履修に責任を持ち、履修申請した科目を意欲的に学修することを目的としています。

### (1) GPA の算出方法 (不合格科目も対象)

$$\text{GPA} = \frac{\text{(当該科目の単位数} \times \text{履修科目の GP)} \text{の総和}}{\text{GPA 算出対象科目の履修総単位数}}$$

成績	S	A	B	C	D	E
Grade Point (GP)	4	3	2	1	0	0

### 算出例

科 目	単位数	成績	GP	単位数 × GP
〇〇〇基礎講座	2 単位	S	4	2 × 4 = 8
〇〇概論〇	2 単位	B	2	2 × 2 = 4
〇〇〇講読〇	2 単位	D	0	2 × 0 = 0
総合体育〇	1 単位	A	3	1 × 3 = 3
日本国憲法	2 単位	A	3	2 × 3 = 6
合 計	9 単位			21

$$\text{GPA} = 21 \div 9 \text{ 単位} = 2.33 \quad (\text{小数点以下第 2 位まで算出})$$

※GPA の最高値は 4.00 となります。

### (2) GPA 算出の対象科目

GPA 算出の対象科目は、本学で履修登録した全ての卒業要件対象科目 (外国人留学生科目も含む) とし、諸資格科目等および本学以外で取得し卒業要件として認定された科目 (N 評価科目等) については、算出対象外とします。

### (3) GPA の種類と表示

GPA は、当該年度内 GPA と入学時からの累積 GPA の 2 種類を算出し、成績通知書に表示します。成績証明書には表示しません。

### (4) 不合格 (D, E) となった科目の GPA 算出について

成績評価が不合格 (D, E) と判定された科目については、GP=0 として GPA 算出に含まれます。しかし、再履修することで最新の成績に基づいて GPA が算出され、GPA を回復させることができます。

成績評価が合格 (S, A, B, C) と判定された科目の再履修は、できませんので注意してください。

(5) GPA 算出に伴う履修取消制度について

GPA 算出に伴う履修取消制度とは、履修登録した科目について「授業の内容が期待したものと違っていた」「このまま履修を続けるよりも他の科目に集中したい」などの理由により履修を断念した時、指定された取消期間内に申請することで、その科目を GPA 算出から除外するものです。申請できない科目もあります。

履修を取消せずに自ら履修を放棄した場合は、成績評価が不合格と判定され、GP=0 として GPA に含まれ、GPA を下げる結果となりますので十分注意してください。

履修取消は、履修を削除するものではなく、GPA 算出対象から除外するものであり、当年度履修単位数は変わりません。よって、代わりに他の科目を履修に追加することはできません。また、一度取り消すと復活はできませんので注意してください。

**【履修取消期間】**

- ・前期・通年科目                    5 月中の一定期間
  - ・後期                                    10 月～11 月中の一定期間
- ※期間は毎年度変わるので、年度ごとに確認してください。

**【履修取消手続きの方法】**

上記期間中に、学部事務室・東松山教務事務室より DB ポータルにて手続き方法を連絡します。履修取消が必要な場合は、所定の手続きを行ってください。

**【履修取消申請ができない科目】**

- ・事前に学部事務室・教務事務室に申請して履修登録する科目（事前登録科目等）

以 上

## 「Daito BASIS」 科目について

「Daito BASIS」科目とは、大東文化大学の「建学の精神」と「教育の理念」に基づいた、本学の学生として身に付けていただきたい能力と人格（「大東学士力」）を培うために、大学として皆さんに履修することを推奨する教育基盤科目のことです。

### 「大東学士力」

- (1) 地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を持ち、諸問題の解決に貢献できる。
- (2) 豊かな人間的教養と高度な専門的知識・技術を持ち、現代社会の諸問題にチャレンジできる。
- (3) 修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている。
- (4) 自分の意見を持ち、それを適切に表現し、他者と協力・共同する能力を持っている。
- (5) 大東人として、また人間としての誇りと自信、社会の担い手としての強い使命感・モラルを持ち、行動できる。

Daito BASIS 科目は、下記のⅠ～Ⅳに掲げる目的ごとに、科目が指定されています。Ⅰ、Ⅲ、Ⅴは、全学共通科目の中から選択して履修する科目です。学部開設のⅡには、「必修科目」が含まれている学科もあります。

### Daito BASIS 科目一覧

Ⅰ 人間性の涵養：人間としての感性をはぐくみ伝統的文化や価値を学ぶ						
学部	学科	科目名	単位数	配当年次	開講	備考
(全学部・学科共通)		芸術学（書道入門）	2	1	半期	全学共通科目 基本科目A系 人間と文化（人文系）
		芸術学（書道中級）	2	1	半期	
		自己・人間を見つめる（論語A）	2	1	半期	全学共通科目 課題テーマ科目 第6群
		自己・人間を見つめる（論語B）	2	1	半期	
		自己・人間を見つめる（現代の大学A）	2	1	半期	全学共通科目 課題テーマ科目 第6群
		自己・人間を見つめる（現代の大学B）	2	1	半期	
Ⅱ 国際性の確保：国際的コミュニケーション能力の基礎力を確保する 各学部の「履修の手引き」を参照してください。						
Ⅲ 社会人基礎力の養成：生涯を視野に入れた社会人としての資質を養成する						
学部	学科	科目名	単位数	配当年次	開講	備考
(全学部・学科共通)		キャリアデザインA （キャリアと教育）	2	1	半期	全学共通科目 課題テーマ科目 第7群
Ⅳ 心身の基礎力の養成：社会人としての心身の基礎力を育成する						
学部	学科	科目名	単位数	配当年次	開講	備考
(全学部・学科共通)		総合体育A	1	1	半期	全学共通科目 基本科目D系 健康とスポーツ（保健体育系）
		総合体育B	1	1	半期	



## 科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは、各教育課程の根幹となる三つのポリシー（ディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP））に基づき、教育課程の体系をより明確かつ容易に理解できるように、科目分野、水準、履修順序、授業形態等を表すコードを付して、教育課程の構造を示すものです。授業科目に記号と番号を振り、授業の難易度、位置づけ、履修順序を明確にすることによって、どのような目的で科目を履修するのか、どの科目から履修していくのがよいのかを理解することを目的としています。本学では、2019年度から全ての学部・研究科等でこの制度を導入しています。

各授業科目に付番されている科目ナンバリングコードは、本学 Web シラバスに一覧表を掲載していますので、そちらをご覧ください。

「科目ナンバリングコード一覧表」掲載URL：

<https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html>

本学における科目ナンバリングコードは、英字と数字の12桁の組み合わせによる構成となっています。

<u>1 1 1</u>	<u>B B B B</u>	<u>1 2</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>C</u>
①	②	③	④	⑤	⑥

※①～⑥は、それぞれ以下の内容を表しています。

- ① 授業開設部局コード
- ② 学問分野コード
- ③ 科目内容コード
- ④ レベル・水準コード
- ⑤ 授業形態コード
- ⑥ 使用言語コード

【例】「東洋史史料演習」の科目ナンバリングコード

1 1 6 H I A A 1 2 3 2 J

⇒歴史文化学科／アジア史およびアフリカ史関連  
／史料研究／学部3年次レベル／演習／日本

### ①授業開設部局コード（数字3桁）

授業がどの部局で開設されているかを示しています。

コード	授業開設部局名称	コード	授業開設部局名称	コード	授業開設部局名称
1 1 0	文学部	1 4 0	法学部	9 1 0	全学共通科目
1 1 1	日本文学科	1 4 1	法律学科	9 2 0	教職課程センター
1 1 2	中国文学科	1 4 2	政治学科	9 3 0	国際交流センター
1 1 3	英米文学科	1 5 0	国際関係学部	9 4 0	単位互換
1 1 4	教育学科	1 5 1	国際関係学科	9 5 0	高大連携
1 1 5	書道学科	1 5 2	国際文化学科	9 6 0	副専攻
1 1 6	歴史文化学科	1 6 0	経営学部	9 9 0	その他
1 2 0	経済学部	1 6 1	経営学科		
1 2 3	社会経済学科	1 8 0	スポーツ・健康科学部		
1 2 4	現代経済学科	1 8 1	スポーツ科学科		
1 3 0	外国語学部	1 8 2	健康科学科		
1 3 1	中国語学科	1 8 3	看護学科		
1 3 2	英語学科	1 9 0	社会学部		
1 3 3	日本語学科	1 9 1	社会学科		

②学問分野コード（英字4文字）

③科目内容コード（数字2桁）

学問分野と科目内容を表しています。詳しくは本学ホームページ掲載の「学問分野分類コード一覧表」をご覧ください。

「学問分野分類コード一覧表」掲載URL：

<https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html>

NO	学類	分野和名	分野英語名	学問分野コード	科目内容コード	科目内容
1	大学関連	大学独自項目	Original subjects	ORSU	00	基礎演習（フレッシュマンセミナーを含む）
2					01	ゼミナール
3					02	論文指導科目
4					03	卒業論文、修士論文、博士論文
5					04	体育実技科目
6					05	教職関連科目
7					06	保育士関連科目
8					07	諸資格科目 （司書・司書教諭、 社会教育士、学芸員）
9					08	留学生科目
10					09	キャリア科目
?						

④レベル・水準コード

授業のレベル（水準）を表しています。

コード	授業形態
1	学士課程の4年間で学修する内容において、入門的・導入的位置づけの科目（学部1年次レベル）、 全学共通科目
2	学士課程の4年間で学修する内容において、発展的・応用的内容を扱う科目（学部2年次レベル）
3	学士課程の4年間で学修する内容において、実践的・専門的に高度な内容を扱う科目 （学部3年次レベル）
4	学士課程で学修する最終段階の水準の科目（学部4年次レベル）
9	その他（認定科目、上記1～4でのレベル分けが困難な科目など）

⑤授業形態コード

科目が主としてどの授業形態で行われているかを表しています。

コード	授業形態
1	講義
2	演習（論文指導を含む）
3	実習（インターンシップを含む）
4	実験
5	実技

⑥使用言語コード

科目が主としてどの言語で授業が開講されているかを表しています。

コード	使用言語
J	日本語
E	英語
C	中国語
F	その他の言語

資料 成績通知書の見方

※この表は、あくまでもサンプルです。例示の数値は進級や卒業の目安にはしないでください。

〒175-8571

東京都板橋区高島平 1-9-1

大東 文香 様

18111888

2021年度 大東文化大学 成績通知書

【評価欄の表示】

S・A・B・Cは本年度合格  
Dは不合格、Eは評価の対象外（不合格）  
Nは他大学等における既修得科目を認定したものと

当該年度履修した全ての科目（時間割表）と評価が記載されています。

●1・3年生は在学期間を満たしていれば

○年 進級見込み「合」表示

●2年生 進級要件を満たしている場合は、進級見込み「合」、要件を満たしていない場合「否」（進級要件はP.16参照）

●4年生 卒業要件を満たしている場合は、卒業見込み「合」、要件を満たしていない場合「否」

4年 進級見込み【判定】合

○○学科  
○○コース 選択言語  
○○免許状 教科

18111888 大東 文香

4年 学部生 ○学部 ○○学科

履修申請単位数（卒業要件） ●単位  
履修申請単位数（全て） ●単位

学部生

曜日	時間	校舎	期間	科目名(略称)	教員名	単位数	評価	備考
月	4	板	通	日本文学講読演習 4	○○○○	4	B	
火	1	東	前	中国語基礎Ⅱ	○○○○	2	D	
火	2	東	通	日本文学史概説 2	○○○○	4	B	
火	3	東	前	地域国家民族 (○○)	○○○○	2	B	
火	3	東	後	異文化世界 (○○)	○○○○	2	D	
水	1	東	前	中国語基礎Ⅱ	○○○○	1	A	
水	2	東	前	総合英語A	○○○○	1	A	
水	3	東	前	法学 (○○)	○○○○	2	A	
木	1	板	通	日本文学講読演習 2	○○○○	4	D	
木	2	板	通	中古文特殊講義 5	○○○○	4	D	
木	3	板	連	近世文学演習乙(3年)	○○○○	8	B	
木	4	板	連	中世文学特殊講義 4	○○○○	4	B	

  

単位修得状況	履修中	修得済	判定	最低	繰入
《卒業要件》 ■基礎教育科目 <必修科目(基礎)> <選択科目(基礎)> <自由科目(基礎)> ■専門教育科目 <必修科目(専門)> <選択科目(専門)> 選択グループ1 選択グループ2 選択グループ3 選択グループ4 選択グループ5 <自由科目(専門)> ■全学共通科目 <基本科目> A系 B系 C系 D系 <課題(テーマ)科目> <教職資格専門科目> <単位互換科目> <他学部他学科開放> **総合計**	28	34	*62	124	
■単位修得状況の見方 履修中＝履修中の単位数の合計 修得済＝前年度および前学期までに修得した単位数の合計 判定＝「履修中」＋「修得済」の合計単位数 ＊＝不足単位数有り 最低＝卒業に必要な最低単位数 繰入＝最低単位数を超えた単位の繰入数	2	6	8	8	
	2	4	*6	8	
	24	12	36	10	
	24	8	*32	48	
	4	4	8	8	
	4	4	4	4	
	8	8	*8	12	
	12	12	*12	16	
	2	16	18	18	
	2	14	14	14	
	4	4	4	4	
	8	8	8	8	
	2	2	2	2	
	2	2	4	4	
	28	34	62		

■単位修得状況の見方  
履修中＝履修中の単位数の合計  
修得済＝前年度および前学期までに修得した単位数の合計  
判定＝「履修中」＋「修得済」の合計単位数  
＊＝不足単位数有り  
最低＝卒業に必要な最低単位数  
繰入＝最低単位数を超えた単位の繰入数

週2回の受講を必要とする授業は2ヶ所に同一名称科目が表示されていますが、評価は一方だけ記されます。

前＝前期 (4/1～9/15)  
後＝後期 (9/16～3/31)  
通＝通年 (4/1～3/31)  
連＝2年連続

2年間続けて履修が必要な科目は、1年目は8単位(学科により異なります)と表示されています。なお、2年目終了時に2年間分の総合評価が記されます。

修得(予定)科目	単位	評価	年度	修得(予定)科目	単位	評価	年度
■基礎教育科目 <必修科目(基礎)> <選択科目(基礎)> 英米文化表現A 英米文化表現B 総合英語A 総合英語B 中国語基礎I <自由科目(基礎)> 中国語初級1A 中国語初級1B ■専門教育科目 <必修科目(専門)> <選択科目(専門)> 日本文学基礎演習 <選択グループ1 選択グループ1 日本文学史概説1 日本文学史概説2 選択グループ2 日本文法論 選択グループ3 日本文学講読演習1 日本文学講読演習4 選択グループ4 上代文学特殊講義7 中世文学特殊講義4 近世文学特殊講義6 選択グループ5 <自由科目(専門)> ■全学共通科目 <基本科目> A系 人間と文化(人文系) 芸術学(舞台芸術論入門) 文学(英米文学を考えるA) B系 社会と生活(社会系) C系 自然と環境(自然系) 生態学(森林生態学A) 生態学(森林生態学B) 現代科学(環境と資源A) 現代科学(環境と資源B) D系 健康とスポーツ(保健体育系) 総合体育A 総合体育B <課題(テーマ)科目> 現代社会の諸問題(くらしと税金A) 地域国家民族の考察(ドイツ現代社会と文化)	1 1 1 1 2 1 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 2 2 1 1 2 2	B A A A C B C B B B C B C C A B B B B B C C A B	19 19 20 20 20 18 18 18 18 18 19 18 19 19 19 18 18 18 18 18 18 18 18 18 19	この面は、入学年度からこれまで合格(S・A・B・C)の評価を受けた科目が全て記載されています。	単位の修得年度が西暦の下2桁で表示されます。		